

#### ■（４６）夏休みが終わると何の日？

被災地では授業時間を確保するため例年になく短かった夏休み。全国の多くの学校でもまもなく終わる。で、子供たちが再び学校に通い出す9月1日は何の日か。すぐに関東大震災が発生した日、と答えられる子供はどの位いるか。もしかしたら先生も…。津波被害も含め、人の記憶は必ず薄れてしまうもの。危機管理の難しいところだろう。

先週のノートに続いて、もう一つの記者の必需品であるペンの話を少し。多くの記者が使うのはボールペンか鉛筆。私の知る限りでは、少なくとも現場を歩き回る記者で、万年筆やおしゃれなサインペンを使う人はほとんどいない。経費の問題ではなく、これも危機管理が理由だ。震災でわかるように、取材現場は必ずしも屋根の下ばかりではない。雨も降る。濡れたノートに万年筆などで書くと、間違いなく文字がにじんで読めなくなる。だからボールペンか鉛筆を使うように心がけている。先輩記者らの知恵でもある。

震災半年で迎える今年の防災の日。万が一に備えて、先生や児童、家庭と一緒に考える機会と考え、各新聞も多くの材料を提供できるように詰めの取材を進めている。(山)